

変わる医師の 働き方と価値観

朝日生命成人病研究所

大西由希子

第69回日本糖尿病学会年次学術集会 シンポジウム11
糖尿病医療人として幸せに働くために
～世代を超えて考えるキャリアのかたち～



公益財団法人
朝日生命成人病研究所 附属医院
The Institute of Medical Science, Asahi Life Foundation

世代と時代

- **専攻医、専門医：20-40代**
 - 新医師臨床研修制度(2004年)
 - 新専門医制度スタート(2018年)
 - 臨床研究法施行(2018年)
- **指導医：50-60代**
 - ディオバン事件(2012年)
 - 男女雇用機会均等法成立(1985年)改正(1997年)
- **指導医の指導医：70-90代**
 - インターン制度廃止(1968年)
 - 薬害エイズ(1980年代)



世代ごとの本音は？

指導医

- 「私達の頃は・・・」
- 見て学べ
- 医師なら自己犠牲
- 論文は根性
- 細かいことは言わず



世代ごとの本音は？



専攻医、専門医

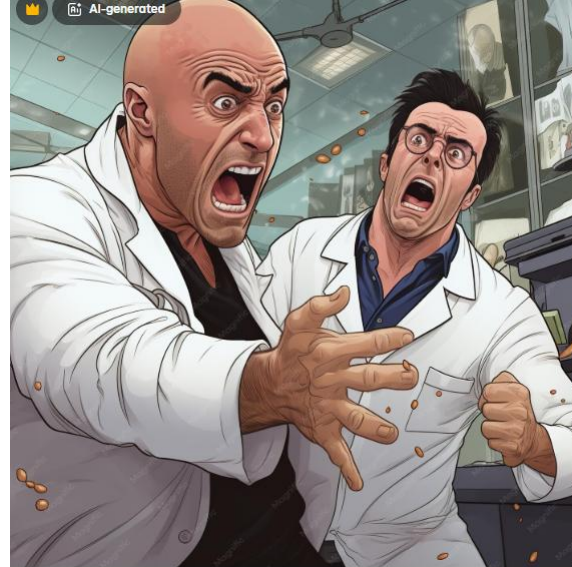
- ・「過去は過去」
- ・テキスト化してほしい
- ・無理しないほうがいい
- ・研究の意義が知りたい
- ・評価は客観性が大事



世代ごとの本音は？

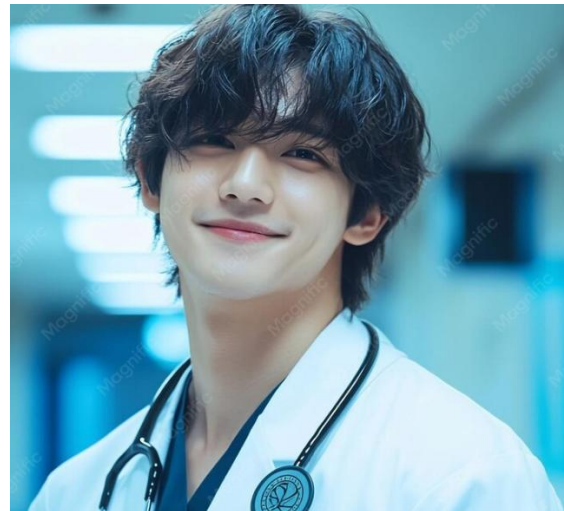
指導医

- ・「私達の頃は・・・」
- ・見て学べ
- ・医師なら自己犠牲
- ・論文は根性
- ・細かいことは言わず



専攻医、専門医

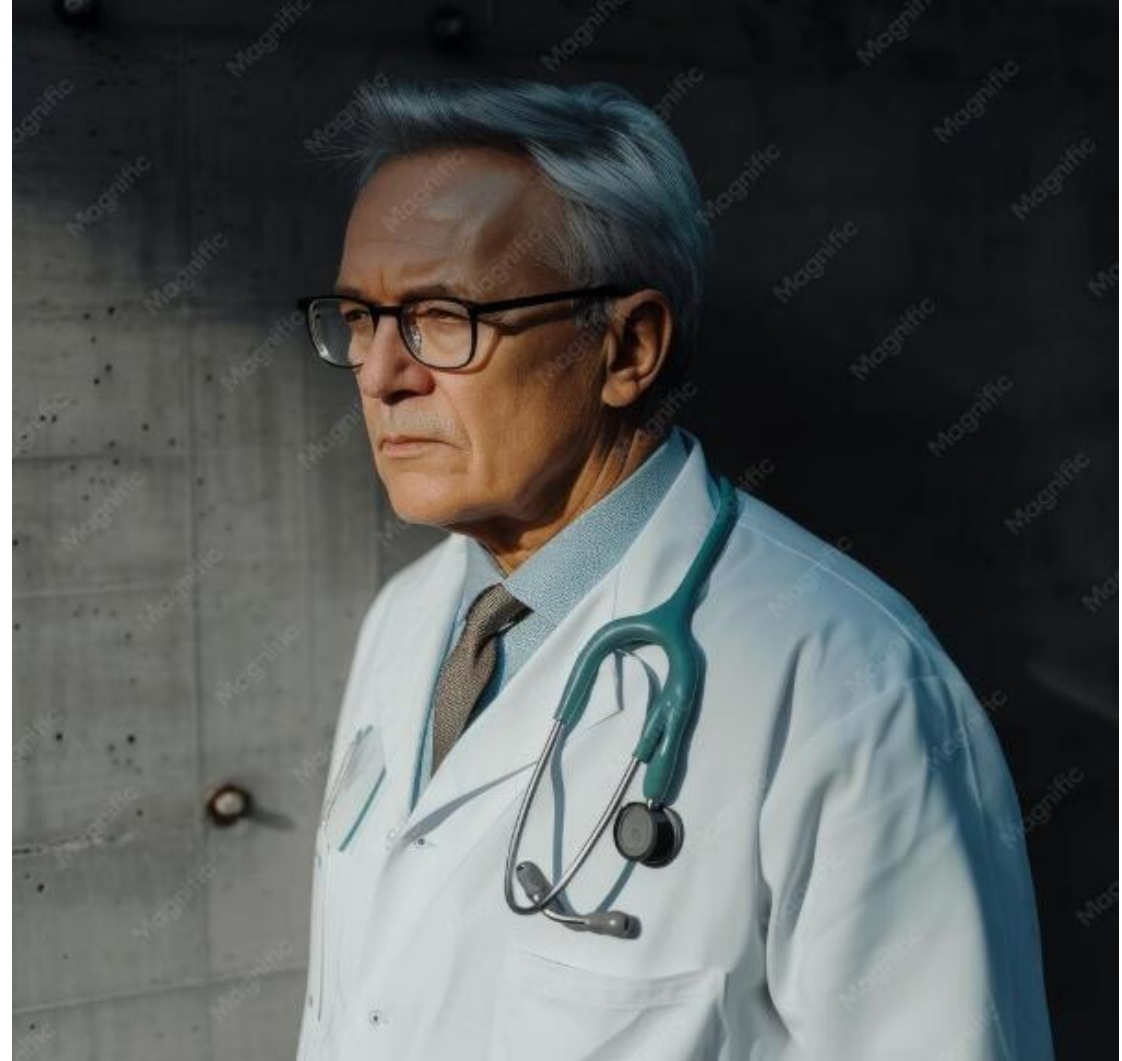
- ・「過去は過去」
- ・テキスト化してほしい
- ・無理しないほうがいい
- ・研究の意義が知りたい
- ・評価は客観性が大事



指導医が若いときもあった

指導医の指導医

- 「つべこべ言うな」
- 教授の発言が絶対
- 医師が子育てなんて
- テーマは教授が与える
- 先輩が絶対



指導医が若いときもあった



指導医が若いとき

- ・ 自分の意見は封じる
- ・ 教科書通りではない
- ・ 子どもは一人
- ・ 興味なくてもやる
- ・ 思考停止で従う



指導医が若いときもあった

指導医の指導医

- ・「つべこべ言うな」
- ・教授の発言が絶対
- ・医師が子育てなんて
- ・テーマは教授が与える
- ・先輩が絶対



指導医が若いとき

- ・自分の意見は封じる
- ・教科書通りではない
- ・子どもは一人
- ・興味なくてもやる
- ・思考停止で従う



社会が変わった

指導医

- 産休明けに働く
- 夜中まで働く
- 終電がなければ徹夜で
- 離婚
- 過労死・自殺

- 専攻医、専門医
- 男性も育児休業
- 定時に帰る
- 残業も希望通り
- 結婚しなくても
- 残業上限あり



社会は変わり続けている

指導医の指導医

- ・ 女性は寿退職
- ・ 患者からの結核
- ・ 吐血しても働く自己犠牲

・ 指導医が若いとき

- ・ 女医は結婚できないよ
- ・ 針刺しで肝炎
- ・ ボルタレンのんでインフルでも働く



医療も変わった

指導医

- ・ 電子カルテに慣れた
- ・ 患者さんの顔を見る余裕ない
- ・ 同意書サインたくさんあるな
- ・ アプリやクラウド慣れるの大変
- ・ 患者さんが長生きしてる！

- ・ 専攻医、専門医
- ・ 紙カルテ見たことない
- ・ ブラインドタッチ・音声入力
- ・ 訴訟があったら大変
- ・ 何でも電子化
- ・ 90歳まで生きても当たり前？



医療も変わり続けている

指導医の指導医

- ・ がんはまず家族に告知
- ・ 診断はあいまいに
- ・ 白血病は治らない
- ・ がん患者は病棟の主

指導医が若いとき

- ・ 自分の命なのに
- ・ 真実を知る権利は
- ・ いつか治る日がくる
- ・ 帰らせてあげたい



糖尿病診療も変わった

指導医

- ・ 低血糖にならない薬すごい！
- ・ 太らない薬
- ・ 好きなものを食べていいの？
- ・ 高齢者は痩せないよう
- ・ 血糖が数秒で測定できる

- ・ 専攻医、専門医
- ・ SU薬？処方したことない
- ・ 保険外診療もあり
- ・ スティグマ植え付けるな
- ・ 長生きしてね
- ・ なんで指から血？



糖尿病診療も変わり続けている

指導医の指導医

- ・ 専門医の腕は
- ・ 痩せ気味なほうがいい
- ・ 食欲の快楽は悪
- ・ 軍歌をうたいながら

指導医が若いとき

- ・ なぜ治療すると太る
- ・ 我慢ばかりでかわいそう
- ・ おいしいもの食べたい
- ・ 1分待てばいい



研究も変わった

指導医

- 分子生物学は？
- 症例をまとめて
- こんなテーマはどう？
- 医師なら論文を
- 研究はやるのが当然

- 専攻医、専門医
- データサイエンス、AI
- 大規模データ買おう
- やりたくないテーマはやらない
- 何のために論文？
- キャリアに必須？



研究も変わり続けている

指導医の指導医

- ・ 海外留学が王道
- ・ 研究は実験室で
- ・ 基礎研究が大事
- ・ 研究は使命
- ・ 義務と規範

指導医が若いとき

- ・ 日本でもできる
- ・ ご飯も実験室で
- ・ 臨床と研究のギャップ
- ・ そんなの聞いてない
- ・ 思考停止か脱落か



世代間ギャップ？

・指導医世代

- ・長時間の経験と努力
- ・医局・学会への帰属
- ・忍耐と自己犠牲
- ・背中を見て学ぶ
- ・同質性
- ・責任・献身

・専攻医・専門医世代

- ・効率(コスパ、タイパ)
- ・個人のキャリア
- ・納得と自律
- ・フィードバック
- ・多様性
- ・持続可能性



昔からギャップはある

指導医の指導医

- ・ 長時間の経験と努力
背中を見て学ぶ
- ・ 医局・学会への帰属
- ・ 忍耐と自己犠牲
- ・ 同質性
- ・ 責任・献身

指導医が若いとき

- ・ 合理的な教育を望む
- ・ 私生活も大事にしたいけど、言えない
- ・ ド根性
- ・ 自分の意見は言えない
- ・ 自己犠牲？



大丈夫？ 大丈夫！

指導医世代

- ・ そんなことで
医療はどうなる？

専攻医・専門医世代

- ・ 何とかなるでしょ



患者も変化している

指導医世代

- ・ 患者がいろいろ聞く
- ・ 「先生にお任せします」
って言われる
- ・ 息子さんがお母さんを
介護してる！

専攻医・専門医世代

- ・ よく説明しないと
- ・ 患者さんも
自分で考えてほしい
- ・ 男も育児・介護当たり
前でしょう



患者の今昔

指導医の指導医

- ・ 医師が決めて当然
- ・ 教授回診ベッドで正座
- ・ 妻は泊まり込みで看病
- ・ 寝たきりを嫁が介護

指導医が若いとき

- ・ 患者はどう思ってる？
- ・ 回診で病状悪化？
- ・ 仕事と両立できない
- ・ 夫は何してるのかな



なぜこうなったのか

- 若者は、いつの時代も環境適応力が高い
- 大人たちの背中を見てきた
- 今の社会を作ってきたのは指導医世代
- 問題点が解決された結果、こうなった
- 医療は習ってきたが、教え方は習ってない



これからどうなるのか

- これからも社会は変わっていく
 - 医療も変わっていく
 - 働き方も変わっていく
-
- 適応力のある若者が育ってどのような社会になるのか
 - 未来の医療現場はどうなるのか



どうなる？これからの医療

変わってきたこと

- ・ 研修制度
- ・ 働き方(ワーク&ライフ)
- ・ 研究のあり方

変わらないこと

- ・ 患者にとって
最善が何なのか考え
- ・ 持続可能な医療を担う



これからどうすればいいの？

指導医世代

- ・ 私達も若いときがあった
- ・ その頃の自分を思い出す
- ・ その時代を思い出す
- ・ 専攻医の思いを想像する

専攻医・専門医世代

- ・ 若い人は年長者の経験がない
- ・ 年長者の思いは理解しにくい
- ・ 年長者が若かった時代を知る
- ・ ギャップをふまえて思いを伝える

コミュニケーションが難しい**理由**も考える



私達にできることは

指導医世代

- 医療を
- 研究を
- 教育を
- 誠意をもって
分かりやすく



専攻医・専門医世代

- 何のために医師に？
- 研究はなぜ？
- 新たな学習法は？
- 指導医の意図は？
- どういう未来を作りたい？

